

第5回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 会議日時

平成22年1月20日（水）午後6時30分から午後7時10分までの間

2 会議場所

道頓堀リンデンビル4階映像ホール

3 出席者

| 役 職 | 氏 名 |
|--------------------|--------|
| 大阪府副知事 | 小河 保之 |
| 大阪市長 | 平松 邦夫 |
| 大阪府警察本部長 | 植松 信一 |
| ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長 | 岡本 敏嗣 |
| ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人 | 福長 徳治 |
| 社団法人関西経済連合会理事 | 田辺 貞夫 |
| 大阪商工会議所会頭 | 野村 明雄 |
| 社団法人関西経済同友会代表幹事 | 中野 健二郎 |

4 意見交換要旨

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

ミナミ活性化協議会の代表者会議は、平成17年度から始めて、今回で5回目となる。

この間、誰もが「ミナミはええ街」だと実感していただけるように、地元の力を結集して、行政、警察、経済界と一致団結して様々な取り組みを行ってきた結果、目に見えて・実感できる形でミナミの風情を取り戻しつつある。

思い起こせば5年前のミナミの街には、強引な客引きを行う「カラス族」がうろつき、たいへん通行がしづらく、卑猥な看板を掲げた風俗案内所も至るところに存在していたため、地元の者でも近寄りたく、また、放置自転車も雑然と置かれたり、はみ出し看板やゴミが放置されているなど、街の雰囲気は暗く、汚いという印象を与えるものであった。

そのような中、「風情あるミナミの街を取り戻したい」、「自分たちでミナミの街を良くしていく」という地元の熱い思いの者たちが集まり、平成17年2月に地元商店街や振興町会を構成員とする「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立した。それ以来、地元では『みんなで作ろう ええ街ミナミ』をスローガンにして、毎月、行政・警察・経済界との連絡会議や夜間の合同パトロールなどを実施してきた。さらには、はみ出し看板等の解消に向けた自主規制を強化するなど、ミナミの環境浄化や活性化に努力してきたところ。

ミナミの街が抱える大きな課題は「安全・安心」と「街の景観」であり、具体的には、風俗環境と放置自転車問題である。

風俗環境問題としては、違法風俗店や違法風俗案内所、通行人に対して声かけなどを行う「カラス族」などが多数存在していた。

風俗環境問題を解決するため、警察において迷惑防止条例の改正や風俗案内所条例を制定するとともに、これらの取締りを継続的に実施していただいた結果、悪質な客引きや違法風俗案内所などは減

少してきた。しかし、この街の安心安全のための環境浄化の活動は手を抜くことができず、合同パトロール等を地道に継続していかなければならない。

次に放置自転車問題では、平成19年6月に大阪商工会議所が事務局となって、大阪市をはじめ、地元や警察などを構成員とした「ミナミ自転車問題対策協議会」を設立し、放置自転車の解消や自転車乗車マナーの向上に向けた、総合的な自転車対策を検討してきた。その結果、昨年10月には大阪市の英断により、放置自転車禁止区域をミナミ全域まで拡大することができ、現在は自転車対策の周知や啓発を兼ねたキャンペーンを重ねているところ。また、大阪市においても駐輪場の拡大や放置自転車の撤去回数を大幅に増加するなど、重点的な取り組みを行っていただいている。今後は、さらに曜日や時間帯など地域の事情に合わせた撤去活動を積極的にお願いする。

このように一歩ずつではあるが、ミナミが抱える問題やそれに密接に関係する青少年問題や街頭犯罪対策などに対して、それぞれの力を結集し、問題解決に向けた取り組みを継続しているところ。

最後に「健全で魅力あるまちづくり」をしていくためには、課題解決とともに一定のルールづくりが必要であると考えている。

そのルールづくりのリーディングケースとして、宗右衛門町地区において、歓楽街ではおそらく初めてのケースと思われる地区計画を取り入れたまちづくりに、大阪市の計画調整局とともに現在、取り組んでいる。今年度中の都市計画決定を目指しているところ。今後は他の商店街のエリアにおいても地区計画の策定が予定されており、この取り組みが広がることによって、健全で魅力あるミナミのまちづくりにつながると考えている。

さらに、宗右衛門町の通りでは、まちづくりの一環として、平成24年度には電柱の地中化とともに石畳の通りが完成し、街並が一新する予定。

石畳にふさわしく風情のある通りにするためには、歩行者の安全確保が重要であり、地元では、車両の通行規制等を含めた「安全安心で歩きやすい道づくり」を推進していくので、引続き関係機関のご協力をお願いする。

また、宗右衛門町では高度化融資を前提に、街並み整備について、大阪府の担当部局の指導を得ながら、これまで計画を進めてきているが、この融資の受け入れが叶わなければ、ミナミ全体の活性化の起爆剤としての宗右衛門町通りの街並み整備が頓挫するので、なにとぞ大阪府においては、今一度再考をお願いしたい。

ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会での活動も5年目を迎えた。地元としては、さらに力を結集し積極的に取り組みを進め、官民協働による地域の環境浄化と街の賑わいづくりに邁進するので、今後とも行政、警察、経済界の皆様からのご支援・ご協力をお願いしたい。

○ 大阪市長

大阪市としてのミナミの活性化、環境浄化に向けた動きを3点申し上げる。

一点目、皆さんの協力のもと放置自転車対策を進め、去年の10月1日からは放置禁止区域を面的に広げることができた。

地元の人たちの結集力がないと取り組めなかったこと。去年の10月1日からこの道頓堀も違法駐輪を撤去しますよという形で動かしていただいた。

ミナミ一帯の自転車放置禁止区域の指定に関しては「自転車まちづくり地域協定」に基づく市民協働の取り組みであり、市民協働ということをやっと言わせていただいているが、市民の皆さんにがんばっていただき、そして警察の皆さんにがんばっていただき、大阪市役所も先頭を走ると言い続けていることがひとつづつ実現しているという実感をもたせていただいていることについてお礼を申しあ

げたい。

そして、本日の会場の道頓堀についても、時間帯によっては放置自転車が半減していると聞いている。全部がなくなっていないのは残念であるが、半減していることだけでもすごい効果だと思っている。去年10月以降、撤去に入った箇所では確実に効果がでている。

1年間の集計を見ると、2年の集計ということになるかもしれないが、平成19年の国の調査で5万台といわれていた大阪市内の違法駐輪が、平成21年の調査では4万2千台まで、16%ほど減らすことができている。これも地域の協力、地元の協力があればこそだと思っている。

現在、南海難波駅周辺の歩道上におよそ700台の駐輪場を整備すべく調整中。今後も、駐輪場の整備に努めていく。

それから、手元の資料、「宗右衛門町地区地区計画（原案）」は、「宗右衛門町活性化協議会」の方々が、市の「まちづくり活動支援制度」を活用して、代表的な歴史ある繁華街「宗右衛門町」の再生・にぎわいをめざし、自らの土地や建物を制限するといったまちづくりのルールについて、議論を重ねてきた成果である。

地区内の土地・建物の所有者は170者と非常に多い中で、今回の内容は、宗右衛門町地区の歴史と風情が本当に格調高いものでなければならぬという、地元の人たちの熱い思いに支えられて、こういう計画をまとめることができた。性風俗産業などの用途制限はもちろんだが、まちのにぎわいのため、建物1階部分に店舗や飲食店を誘導するための用途制限を定めている。

都市計画決定に向け、1月22日から縦覧を始める。そして、このまちづくりのルールを実効性のあるものとするためには、大阪府警察本部、植松本部長をはじめ、府警の協力があればこそである。

地元、大阪市、大阪府、そして警察あらゆる方々の協力、いっしょにやりまひよと私はたえず言わせていただいているが、その大きな力になりつつあると思っている。

電線類の地中化や石畳工事が完成すると宗右衛門町をぶらぶら笑顔で歩いている観光客の人の姿がいっぱいにあふれる、そんな街になってほしいと思っている。

三点目、地域防犯対策、これも「街頭犯罪ワーストワン返上」を大きな声で言わせていただいて、街の方たち、警察の協力を得て、去年1年間で、街頭犯罪件数は相変わらずワーストワンであるが、人口10万人あたりの犯罪発生率でみると、名古屋市にワーストワンを譲ることができた。皆様の地道な協力をいただいたからだと思っている。

特にミナミについては「ミナミ繁華街特別対策地区」と位置付け、警備会社に委託して行っている夜間の青色防犯パトロール事業、自転車の盗難監視員事業では、他の区や地域よりも重点的な配置をさせていただいている。街頭犯罪の抑止に向けた取組みを進めているということは、地元の皆さんが率先して、「ミナミはええ街や、猥雑で怖いと言われていた街とは違う」という力を出していただいているからこそ、行政もそこに思い切った施策を打っていけるという見本だと思っている。

大阪市全体で街頭犯罪が15.1%減少したが、南警察署管内では、26.3%も街頭犯罪が減少している。ぜひこの勢いを続けて、街頭犯罪ワーストワン返上に向けて、今後も一致協力して進めていきたい。

「いっしょにやりまひよ大阪」をキャッチフレーズに全力でやっていくので今後ともご協力をお願いしたい。

○ 大阪府副知事

17年から始まったこの協議会の活動、地元の方、行政、経済界、警察が一体となった活動で、「風俗環境の浄化」、「はみ出し看板の撤去」、「放置自転車対策」又は、「毎月の合同パレード」、ミナミの

環境浄化に取り組み、着実な成果があがっていることに対して感謝する。

私自身、大阪南区の生まれ育ちで、学生するときなど、宗右衛門町、道頓堀を一人で歩いていたが、その生まれ育った私でも、あるときから本当に歩きにくくなった。それが府警本部や地域の方の着実な活動で、風俗環境の浄化、カラス族の一扫、風俗案内所の規制等、着実に成果がでており、また、安心して歩けることをうれしく思っている。

大阪府においては、青少年健全育成の立場から青少年健全育成条例を改正して、出会い系喫茶等の営業を規制するとともに、ミナミ地区などの出会い系喫茶やインターネットカフェなどへの一斉立入り調査を府警本部とともに行っており、条例の周知と営業者に対する指導を徹底しているところ。

また、昨年4月から、総合的な治安対策の司令塔として危機管理監のもとに「青少年・地域安全室」を立ち上げ、深夜の青色防犯パトロール事業や防犯カメラ設置補助事業など、府警はもとより、大阪市と連携しながら、治安対策を進めている。

知事がいつも言っている大阪を元気にしたい、活性化したいということで御堂筋のイルミネーション事業を大阪市の大阪光のルネサンス事業とともに行うなど、色々な賑わいをつくっている。こういうことで大阪を活性化し、人がたくさん来て、それが安全安心に繋がっていく。本来、宗右衛門町、道頓堀は賑わいづくりをしなくても、たくさん人が来られていた。賑わいづくりをしないと人が来ないことは逆にさみしいことだが、先ほどの宗右衛門町の地区計画などによる活性化はたいへんであると聞いており、一軒一軒の事業者にあたって、参画を求められて、なんとかいい街をつくっていこうと聞いている。先ほど会長が言われた高度化資金の話については、相談させてもらおうと思っている。ミナミが元気になりますよう、今後とも地域の皆さんと共に、府としても、大阪市、府警本部、経済界の皆さんとがんばっていくので、よろしく願います。

○ 大阪府警察本部長

府警では、平成17年2月に歓楽街の総合対策推進本部を設け、ミナミ地区等を推進重点地区に指定して、組織を挙げてミナミ地区の風俗環境等の浄化に取り組んで参った。

昨年、府警におきまして、地元住民の方々からの風俗案内所の規制強化についての強い要望を踏まえて、風俗案内所条例を全面的に改正して、ファッションヘルスなどの性風俗特殊営業に関するあつせん事業の禁止や事業者の欠格事由を設けました。これは、全国で最も厳しい風俗案内所に対する規制条例である。

その効果については、昨年4月から積極的な取締りを行い、昨年未までに、府下においては法人を含み19店舗43人を検挙し、このミナミ地区において6店舗13人を検挙した。

その結果、20年末では府下全体で211件あった風俗案内所が、条例改正後の昨年未までに63件、7割減少した。

ミナミ地区においては、20年末に95件あったのが、昨年未までに36件、62%減少した。

こういった違法風俗案内所の摘発のほか、いろいろな形で取締りを行っているが

- ・宗右衛門町通り周辺における客引き等85人検挙
- ・違法風俗店等について、27店舗129人の検挙
- ・女子中学生等をヘルス嬢として稼働させていたヘルス店3店舗摘発、経営者等を児童福祉法違反で検挙
- ・違法なパチスロ賭博店4店舗摘発、暴力団員等を含む65人を検挙
- ・外国人の不良グループによる薬物事件7人検挙
- ・不法滞在者等149人摘発

- ・すり、仮睡者ねらいの検挙
- ・市、地元住民の方々と連携した3者合同のクリーンナップ作戦として放置自転車や放置物件の撤去活動
- ・少年の健全育成ということで、少年補導をサポートセンター等で行い、昨年1年間で1,359件補導

等を行い、ミナミ地区の環境浄化に向けた取締り等を強化しているところで、一定の成果が得られたと思っている。

しかし、依然として歓楽街、繁華街については、

- ・暴力団、来日外国人犯罪組織の資金源獲得活動の拠点になる恐れがある
- ・悪質・違法な風俗店等が未だ存在して、その営業形態が巧妙化、潜在化している

等課題が残っていることを厳しく受け止めている。

こういったことから、府警でも、今年も引き続き「歓楽街総合対策」を重点推進項目に掲げて、取り組んでいくこととした。

中でも「風紀・風俗事犯の取締り等の推進」を第一に掲げて、違法な特殊風俗あっせん事業とか、客引き等の集客事犯に対する取締りを実施するとともに、新たな形態の違法営業、例えばガールズバーとかいった風俗店があるので、違法営業がある場合は、看過することなく速やかに摘発するという攻めの姿勢で行っていくことにしている。

また、環境浄化、犯罪対策として推進している街頭防犯カメラ事業については、一昨年の3月にいわゆる南地地区に24台を設置・運用しており、加えて本年の3月に島之内地区に16台を設置予定である。これにより、ミナミ地区に合計40台の街頭防犯カメラが設置されることとなる。

もとより、プライバシーの保護等を踏まえて適正かつ厳格な運用管理を公安委員会の規則を設けてすることとしているが、取締り強化との相乗効果により、犯罪の抑止、風俗環境の浄化に効果が上がるものと期待している。

また、緊急雇用対策事業として、先ほど市長が言われた市の事業と併せて府警としても、昨年12月から、繁華街パトロール業務を、4人1組で最大7組による夜間・深夜の巡回パトロール活動を実施しているところである。

その結果、犯罪発生件数では街頭犯罪は南署管内で見ても、この4年間で43%減少している。

もとより、警察だけではこういった対策は功を奏しない。まさに地元の方々、自治体等と連携したいわゆる「オール大阪」体制での取組が必要だと考えており、我々も「賑わいあるまちづくり」に向けて取り組み、プラスの方向性をもって、しっかり連携していきたいと思っている。

私は、治安問題の本質は、秩序を乱す行為に対して、そこに住んでいるの方々、関係者がいかに自制的になる、批判的になるということだと思う。まさにミナミ地区においては、会長からも話があったが、地域として決然として、熱意をもって良くすることが街づくりの原点だと思う。そういったものを警察としても受け止めて、しっかり連携をとって参りたいと思っている。

○ 大阪商工会議所会頭

皆さんも同感だと思うが、ミナミのまちを歩くと、明らかに、先ほど色々な数字の資料の発表があったが、体感的にも随分、環境が変わったよくなったと実感されると思う。これは各行政の様々な形で支援、取締りの強化等があると思うが、なによりもミナミ地区で現実に商売をし、住んでいるの方々の尽力のたまものであると思う。先ほど、岡本会長から発言があったが、たいへん重かったと感じた。昨年、阪神なんば線が開通し、高島屋の増床も計画されている。先般、大丸百貨店の

北館もでき、これからミナミへの人の集まりはますます多くなると思っている。さらにミナミへの人の流れを増やし、ミナミを活性化するには、個性のある街づくりにつきて思う。歴史的、伝統的なミナミ、宗右衛門町の雰囲気などがあげられるが、まさにそういったものを活かすことが重要だ。他の地区でもミナミの方々の協力により、市を中心に様々な形で地区計画が検討されており、まちの個性づくりに役立つと思う。

なんと言っても大阪のブランドである「食」と「水」を前面におしだし、電柱のない石畳の街をつくって、大勢の人々が着飾って、夜にそぞろ歩きができるような街づくりをしていこうという、この地域でご商売をされている方々、住んでいる方々の熱意を改めて感じた。宗右衛門町に限らず、ミナミの色々なエリアで、個性のある、魅力のあるまちづくりが進み、ミナミ全体の賑わいが溢れることは素晴らしいことだと思っている。

昨年、大阪商工会議所では、水都大阪2009というイベントを1年限りでなく、今後も継続させていくきっかけとして、ミナミの商店街と連携し、「大阪検定ミナミラリー」を実施させていただいた。16店舗の協力を得て、店舗の前に掲げたミナミに関連する様々な検定の問題を解いてもらいながら、街を周っていただき、「そこに食があり、素晴らしい雰囲気の通りがある」、そういう魅力を多くの方々に体感していただいたと思っている。

私どもは、ミナミの活性化は、まさに大阪の活性化そのものであると思っている。今後も大阪の食文化を安心して、安全に心ゆくまで楽しめるようなミナミの実現に向けて、大阪商工会議所としても、できることに力を注いでいきたいと考えている。

○ 関西経済同友会代表幹事

まさに「継続は力なり」であり、毎年、この地域で、このような形の活動を続けることが重要である。

仕事柄、私も全国あるいは海外に行くが、気になるのは「安心して行ける街なのか」であり、それから「面白いのか」である。先ほど平松市長からもお話があったが、道頓堀や宗右衛門町でもこのような点をいかにつくっていくかが大きな課題と思う。そのためには、まず治安、安心・安全が観光客にとって非常に重要であり、それから雰囲気が面白いかということである。

加えて、海外に行くと、言葉の問題がある。本日も道頓堀を歩いたが、中国からの観光客を見かけた。全部作るわけにはいかないとしても、路地や通行の表示等を英語や中国語、ハングルなどで出していくことによって、観光客も安心して店に入れるようになる。私も海外では、日本語で表示されていると安心して入ろうかとなるので、そうしたソフト面もぜひご検討いただきたい。

いずれにせよ、毎年行うことで、今年は昨年よりもっと良くなり、来年は今年よりもっと良くなる。「継続」が重要であり、その点、我々同友会としても協力していきたい。

○ 関西経済連合会理事

私は1回目からこの会議に参加しているが、この周辺も5年間でずいぶん変わったという印象である。この間、条例の制定や地区計画案が作られるなど、着実に進展している。地元、府警、関係機関の努力に敬意を表している。

まちの賑わいの基本は、安全・安心である。それに加えて、人をひきつける魅力、活気が必要であり、さらには、交通アクセス等のインフラ整備が欠かせない。関経連は経済団体として、地域の活気の源泉となる産業の活性化、インフラ整備に注力している。

厳しい環境ではあるが、関西ではベイエリアはじめ大型投資が続いており、将来有望な芽が出つ

つある。インフラ整備は昨今、関空や道路で論議が激しく交わされており、徐々によくなることを期待している。

今後とも関経連は地元の皆様方の地道な取組みを応援しながら、それと相乗効果が出るように産業の活性化とインフラ整備に全力をあげていく所存である。

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

私ども大阪ミナミの地域の者としては、できるかできないかは別として、日本一、世界一安全安心のモデル地区、賑わいのある街を目指している。今日は、代表者の皆様方に強い要望をしたいと思っていたが、府警本部長からは「攻めの姿勢」の言葉をいただき、市長からは「数年後のミナミ、宗右衛門町あたりの明るくなったイメージ」をお聞きし、副知事からは「青少年の取組み」、また経済界の方からも色々な話をいただき、要望どころか、感激感動している次第。今後とも地域の我々はもちろんのこと、引き続き強力なバックアップをいただきたい。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第5回ミナミ活性化協議会共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント、パレード

代表者会議終了後、リンデンビル1階コンコースにおいて啓発イベント及び参加者全員で道頓堀通を戎橋南詰までパレードを実施した。

※放置自転車撤去と放置自転車追放キャンペーン

代表者会議の前に、道頓堀（相合橋～御堂筋の間）で大阪市建設局による放置自転車の撤去と参加者による自転車放置禁止区域の啓発チラシを配布するキャンペーンを実施した。

第5回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に設立以来5年に亘り、地域の力を結集し、官民一体となって健全で魅力あるミナミのまちづくりに取り組んできた。

この間、カラス族の取締りや条例の制定による風俗案内所の規制、ひったくり等の街頭犯罪抑止対策、自転車等放置禁止区域の拡大など様々な取り組みをおこなった結果、ミナミを取り巻く環境も大幅に改善してきている。

しかしながら、大阪を代表する風情で情緒あるミナミ本来の姿までには至っておらず、今後も継続的な取り組みが必要である。

そこで、われわれが一致団結し、安全で安心なまちづくりのためオール大阪でそれぞれの責務を果たしながら、ミナミのまちが抱える風俗環境や放置自転車問題、さらには街頭犯罪の抑止など、引続き課題解決に取り組むとともに、「ええ街ミナミ」の活性化に向け、特に次の3点について強力に推進していくことで一致した。

- ① 違法風俗店や違法に行われる風俗案内所、客引き等による集客行為に対する取締りを強化するとともに、まちぐるみによる違法風俗店などの出展を阻止するための取り組みを推進する。
- ② ミナミの繁華街全域に拡大された自転車等放置禁止区域の周知等を図るとともに、民間駐輪場の有効活用や利用者に対するマナー向上の啓発など、より一層の取り組みを進めていく。
- ③ ミナミの文化や景観を守り魅力あふれる賑わいあるまちづくりを目指して、地区計画などを活用したまちのルールづくりを拡充していくとともに、実効ある運用を行うため必要な仕組みづくりを進める。

平成22年1月20日

ミナミ活性化協議会

| | |
|--------------------|---------|
| 大阪府知事 | 橋 下 徹 |
| 大阪市長 | 平 松 邦 夫 |
| 大阪府警察本部長 | 植 松 信 一 |
| ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長 | 岡 本 敏 嗣 |
| ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人 | 福 長 徳 治 |
| 社団法人関西経済連合会会長 | 下 妻 博 |
| 大阪商工会議所会頭 | 野 村 明 雄 |
| 社団法人関西経済同友会代表幹事 | 中 野 健二郎 |